

Doc.No : NR040520-1

2004年5月20日

ハイエンドタイプのプリント基板用外観検査装置を発売 ～線幅12.5ミクロンの超高精細パターン検査に対応～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)の電子機器カンパニー(社長：葛川 幸隆)は、線幅12.5ミクロンの超高精細パターンに対応するハイエンドタイプのプリント基板用光学式外観検査システム「PI-8500」を、2004年7月から販売します。

ノートパソコンや携帯電話など、電子機器の小型化・高性能化に伴って、プリント基板のパターンはより一層の微細化が進んでいます。また、日本においては高精細基板や試作基板の需要が多く、15ミクロン以下の線幅が要求されています。従って、検査装置に対する高性能化、信頼性への要求はますます厳しくなっており、今後は高精細の外観検査装置の市場も拡大すると予想されます。

今回発売する「PI-8500」は、このようなプリント基板業界の動向を先取りした装置で、ニーズの高まっている超高精細な配線パターンに対応し、最小12.5ミクロンの線幅までの検査を可能にしました。エコノミータイプとして販売中のPI-8000の上位機種に当たり、高精細タイプとしてはPI-7900の後継機種となるものです。エルゴノミクス(人間工学)に配慮したデザインや、ユーザーの操作性を考慮したオペレーションソフト(Windows XP)など、PI-8000の基本コンセプトを継承しながら、検査速度も12.5ミクロン幅の配線パターンを持つ406×457mmの基板を1時間に50面処理できるなど、従来の約2倍(当社比)の生産性を実現しています。

*この装置は6月2日から4日まで、東京・有明「東京ビッグサイト」で開催される「JPCA Show 2004」でご紹介します。

< 販売開始予定 >

2004年7月

< 国内希望販売価格(消費税別) >

6,800万円

< 年間販売台数(初年度) >

20台

**PI-8500**

☆この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(<http://www.screen.co.jp/press/nr-photo/>)

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目

<特長>

1. 超高精細基板検査に対応

高分解能光学系と高速画像処理ユニットを搭載し、線幅12.5ミクロンの超高精細パターン検査に対応。高精度化、高密度化が進むBGA、CSP、COFなどのパッケージ基板や、ビルドアップ基板の検査に威力を発揮。

2. CAMデータ変換ソフトウェアを搭載、目視確認ユニット*も本体に搭載可能

本体にCAMデータ変換ソフトウェアを搭載し、欠陥確認用の目視確認ユニットも搭載可能。これにより、低コストでの検査システムの構築を実現。

*本体搭載型ベリファイユニットはオプションです。

3. 新DRC機能

DRC検査で発生する虚報を低減。微小なショート、断線の検出能力が大幅に向上。

4. ダイナミックスケール機能

CAMデータと実基板の寸法差を自動的に補正。煩雑なスケール調整作業が不要。

5. 検査・禁止エリアの分解能が向上

比較およびDRC検査での検査・禁止エリア分解能が向上。比較位置合わせの後にエリアが適応されるため、高精度な検査が可能。

6. 多面付け検査で、1枚でも検査可能

1枚の基板に同一パターンが複数面付けされている場合、この中の良好な一つのパターン面を良品パターンとして、残りの面を検査可能。CADマスターが無くても良好なパターンがあれば、高精度な検査を実現。

7. 多値画像取り込み機能

指定された位置の多値画像を取り込み、モニター上に表示。最適な2値化レベルの素早い決定が可能。

8. 高精細完全比較法を搭載

高精細完全比較法により、SMTパッド、ランド、電源グランドパターン、アナログパターンの欠陥などのDRC法では検出が困難なパターンの欠陥検出に威力を発揮。

9. 欠陥位置の明示化機能

比較欠陥位置、DRC欠陥位置を、目視確認ユニット側のビデオモニターに表示。

10. パターン位置ずれ検査機能

マスターパターンを絶対基準として、オブジェクトパターンの位置ずれ検査が可能。

11. 外観検査システムのネットワークに対応

生産システムの効率運用をサポートするフロントエンドシステム「UP-8000」との組み合わせにより、ネットワークに対応した外観検査システムの構築が可能。

12. 量産工場での自動化システムに対応

オートローダー用インターフェース(当社標準規格)を準備(オプション)。量産工場での自動化・省力化にも貢献。

<オプション>

目視確認ステーション VT-1850

標準装備の目視確認機能に追加する形で、高精度の欠陥情報をモニターするためのオプション装置。検査済みの基板をテーブルにセットして該当する基板番号を入力すると、カメラが自動的に欠陥位置に移動し、その部分を拡大表示します。PI-8500の生産性に合わせて増設が可能で、量産ライン工場での使用に適しています。
(販売価格:1,200万円(消費税別))

※WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。